構成用紙

生徒コード ヒイラギ　8月3週分　曜　先生　月　日　時　分～　時　分

題名 ユーモアについて

名前 (感)

第1段落

構成
- イギリスでは－
- 日本では－
- ユーモアを受け取るためには－

ここがポイント

要約

方法
長文をしっかり読んで、2-3のポイントをぬきだしておこう。

あなたのポイント

第2段落

題材
身近なところで「ユーモア」のある話

体験実例

ダジャレばかりいう先生、行動がおもしろいお父さんお母さんの話

具体的な会話を入れて、おもしろさを伝えよう。

実例1
ユーモアを感じたのはタコ飯のとき母がカレーを作ってくれてその時父が「今日のカレーはレストランよりおいしいな」と言ったとき

「会話」

その謎のおかげで食欲が失

第3段落

「ユーモア」がない話はどうかな？

実例2

まじめくさっていて冗談の通じない人や、ふざけると怒る人の話

もしへだったら

そういう人と自分が会った時の気持ちなども考えよう。

実例2
最初の話よりたくさんしゃべるし冗談も言うしそれはその人があるいわけではなくどんなこと

第4段落

全題
「ユーモア」は人間にとって……である。

一般化の主題

心を元気にする特効薬のようだ。

ことわざ
- 水清ければ魚棲まず。
- 笑う門には福来たる

人間関係を円滑にする機械油のよう。

表現
ユーモアの例としてダジャレを考えてみよう。

たとえ、ダジャレ

ユーモアは人間にとって人と人をつなぐ光かけ橋

生活は味気なくなってしまう

だからユーモアがない話には「ぬくもり」が欠けていると感じた。